

研究機関名：東北大学

受付番号： 2009-289
研究課題名 小児白血病細胞におけるシグナル伝達に関与する遺伝子の解析
研究期間 西暦 2009 年 10 月(倫理委員会承認後)～ 2014 年 9 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名) <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記材料の採取期間 西暦 2006 年 8 月～ 西暦 2009 年 7 月
意義、目的 小児白血病細胞において RAS シグナル伝達経路に関与する遺伝子の解析を行うことにより、その分子の関与を明らかにする。これらの遺伝子が白血病の新たな発症要因と分かれば、その異常の有無により、適切な治療薬の選択や予後予測などに役立つ可能性がある。
方法 小児病態学分野にてすでに保存している白血病患者の末梢血および骨髄検体から DNA を抽出し、または目的遺伝子を増幅した後、塩基配列決定を行う、あるいはゲノムのコピー数の異常を検出する。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院医学系研究科・遺伝病学分野 022-717-8140